

令和2年度  
新潟市芸術創造村・国際青少年センター  
事業計画書・収支計画書

環境をサポートする株式会社きらめき  
新潟市中央区東堀前通6番町1061番地  
代表取締役社長 山田 茂孝

1. 【令和2年度 基本方針】

1) .基本方針Ⅰ 学校利用のさらなる促進 \*重点課題

- ① 魅力ある新事業・日帰りプランと滞在型体験活動プログラムの開発
- ② 「ゆいぽーと」認知度向上のための働きかけ
- ③ ていねいな事前説明ときめ細やかなサポート

2) .基本方針Ⅱ 「にいかたアドベンチャー (NA)」を主軸とした多様な体験活動の提供

- ① にいかたアドベンチャー (NA)、体験プログラムの進化
- ② 積極的な指導者育成
- ③ 青少年と市民交流との交流推進

3) .基本方針Ⅲ 『水と土の芸術祭』の理念を継承した文化芸術活動支援事業の実施

- ① 「水と土の芸術祭 2015」総合ディレクターによる文化芸術監修 (常駐)
- ② 「市民プロジェクト」との連携

2. 【目標設定】

令和2年度 利用人数目標

(人)

事業区分	R2目標値
文化芸術活動支援事業	3,500
青少年体験活動推進事業	63,980
その他事業	11,320
<b>合計</b>	<b>78,800</b>

【文化芸術活動支援事業内訳】

事業カテゴリ	R2目標値
① AIR 制作見学・展示会	1,460
② AIR 市民交流事業	240
③ 地域団体市民交流事業	720
④ 水と土の文化ギャラリー企画展示	1,030
⑤ ボランティアの活用	50
<b>合計</b>	<b>3,500</b>

【青少年体験活動推進事業内訳】

事業カテゴリ	R2目標値
① 青少年体験活動 (学校関係、青少年団体向け)	34,600
② 青少年健全育成事業 (青少年個人向け)	1,000
③ 市民交流事業	200
④ 市民交流事業 (地域世代間交流事業)	5,250
⑤ 青少年の自由な遊び場・居場所提供事業	22,700
⑥ 指導者育成事業	140
⑦ ボランティアの活用	90
<b>合計</b>	<b>63,980</b>

【その他事業】

事業カテゴリ	R2目標値
① 貸館利用 (青少年を除く)	3,300
② 個人利用 (青少年を除く)	7,940
③ 自主事業二葉アーツスクール	80
<b>合計</b>	<b>11,320</b>

### 3. 【学校利用促進活動】★重点課題

文化芸術活動と青少年体験活動の2つをあわせもつ「ゆいぽーと」の強みを活かした活動を創出・推進するとともに、「新潟市芸術創造村・国際青少年センター(ゆいぽーと)」の認知度を上げ、より一層きめ細やかな対応を行い、利用学校数・利用者数・稼働率の向上を目指します。

#### 1) . 魅力ある新事業・日帰りプランと滞在型体験活動プログラムの開発

##### ① 文化芸術活動と青少年体験活動のコラボ企画の推進

中学・高校美術、体育分野でのAIR成果展の見学・ワークショップへの参加を進めます。青少年が直接アーティストと触れ合う機会を設け、青少年体験活動から芸術文化活動への導入、施設有効活用へと繋げます。

##### ② 海のアクティビティの開発

「新潟港海岸・利用促進検討委員会」参加機関等との連携を図りながら、寄居浜・日和山浜を中心に、魅力あるアクティビティの開発に努めます。現在設定している利用団体向けプログラム「海でサンドアート」の他に、アクティビティ開発に取り組んでいきます。

##### ③ 連携機関・協働活動者の整備と開拓

関係機関等との連携・協働を広げていきます。好評をいただいている「新潟港湾・空港整備事務所との連携による乗船体験・船内見学・水理実験場見学」等の体験学習をはじめとし、青少年の健全育成、文化芸術体験の充実に関わる活動を開発します。

#### 2) . 「ゆいぽーと」認知度向上のための働きかけ

##### ① メーリングリストの作成・活用による、ダイレクトな情報発信

校種別、市内外別のメーリングリストを作成し、各リストにフィットした情報をダイレクトに届け、施設認知度の向上に努めます。令和2年度は特に市外の小中高等学校への働きかけに力を入れ、校外学習の際の立ち寄り場所としての利用促進を図ります。

##### ② イベントチラシ、ゆいぽーと通信等の効果的配布

年4回の「ゆいぽーと通信」と同時に小中特別支援学校に配布している文化芸術・青少年体験活動のイベントチラシを地域限定で全児童・生徒に配付します。

##### ③ 「ゆいぽーと合宿プラン」を中心に、全スタッフで新たな訪問先を開拓

高校向け「ゆいぽーと合宿プラン」をはじめ、予備校や専門学校、地域企業等への利用の案内を作成します。市内は直接訪問営業を行い、利用拡大につなげます。

#### 3) . ていねいな事前説明ときめ細やかなサポート

##### ① 様々な機会をとらえて臨機応変なアピール活動の展開

新潟市中学校長会、各区小学校長会、市内小・中・高校の個別訪問を展開します。「市の施設であり、安価で安心して利用できる」「市の中心部に位置し、医療機関や公共施設が近く安心である」「教育課程内の活動は、施設使用料が免除できる」等の利点を直接アピール、さらにプランの提案、活動例の提示等により利用を促します。

##### ② 「個別に手厚いフォローを受けられる」オーダーメイド対応

各学校の状況に応じて、必要と思われる事案については事前に個別訪問し、出来るだけ希望に添える学校別プランを作成し、効果的な利用につなげます。

##### ③ アンケート結果と改善点の開示

利用後ヒアリング・アンケートを徹底し、学校利用の声の集約に努めます。それらの活用により継続的改善につなげます。

#### 4. 【青少年体験活動推進事業】

職員全員が青少年の体験活動における安全管理の在り方を理解し、身体的及び心理的に安心・安全なプログラムを提供します。

##### 1) . にかたアドベンチャー (NA)、体験プログラムの進化

###### ① 体験活動プログラムの提供と実施 (主に小・中・高等学校等、施設利用青少年団体向け)

(ア) 「にかたアドベンチャー」(以下、「NA」という。)の継続

a. これまで以上のプログラムの内容充実

今年度新たにローエレメント「ニトロクロッシング」を設置し、提供するアクティビティの幅を広げます。

b. プログラム指導者の増員

職員の他、これまでに「NA 指導者養成講座」を受講し、NA ファシリテーターとして登録された方たちに、指導に参加いただきます。

c. 「NA ファシリテーターミーティング」の開催

NA の指導力向上を目的として上記の登録ファシリテーターを対象に、アクティビティ実習、ロールプレイング等を通じた安全管理研修を実施します。

(イ) その他体験活動

ネイチャーゲームやオリエンテーリングなど、計 18 程度の選択プログラムを整備し、それぞれの学校や団体のニーズに合わせて選択し実施できるようにします。

###### ② 青少年健全育成事業 (青少年個人向け)

(ア) 宿泊事業 (4回開催)

「防災」「アート体験」をテーマに加えて、より幅広い体験事業を実施します。

a. ワクワク体験キャンプ (館内研修室泊。年 2 回実施。)

ゆいぽーとの特性を活かした 1 泊 2 日のキャンプ。NA、野外炊事、E ボート、魚釣り、工作、近隣の散策など楽しいプログラムが体験できます。

b. 防災キャンプ (館内研修室泊。年 1 回実施。)

災害時に役立つ体験プログラムを中心とした 1 泊 2 日のキャンプ。

c. アート体験キャンプ (館内研修室泊。年 1 回実施。)

アーティストを講師に招いたアート体験プログラムを中心とした 1 泊 2 日のキャンプ。体験系と芸術系の融合プログラム。

(イ) 日帰り事業 (30回程度開催)

ゆいぽーとの特性を活かして、通年で様々な体験ができる事業を実施します。

##### 2) . 積極的な指導者育成

###### ① 指導者育成講座

(ア) 「ゆいぽーと体験活動指導者養成講座」(A 業務)

a. 新規指導者向け…日帰り 6 時間の養成講座を実施 (年 1 回実施)

b. 継続登録指導者向け…日帰り 3 時間の養成講座を実施 (年 1 回実施)

(イ) 「にかたアドベンチャー指導者養成講座」(B 業務)

a. 新規指導者向け…21 時間の養成講座を実施 (年 1 回実施。PAJ より講師を招聘する)

b. 継続登録指導者向け…日帰り 6 時間の養成講座を実施 (年 1 回実施)

c. ファシリテーターミーティング…登録指導者を対象に、ファシリテーション力の向上や相互交流を目的に実施 (年 1 回実施)

### 3) . 青少年と市民との交流推進

#### ① 市民交流事業

##### (ア) 第7回 全国 KAPLA®大会

大会参加施設として登録し、自由な作品作りを通して地域住民と創作活動を通じた交流を図ります。

##### (イ) KAPLA®体験、けん玉体験

近隣地域の様々な世代とけん玉やKAPLA®を通じた交流ができる機会を設けます。

##### (ウ) 「防災デイキャンプ」の実施

災害時に役立つスキルを学べる講座。地域の方との連携を強化します。

#### ② 地域世代間交流事業

青少年を中心とした幅広い世代の方の交流を推進するため、以下の事業を中心に行ってまいります。

##### (ア) キッズスペース、こたつスペースの設置

親子や地域住民がゆっくりくつろげるスペースを設置します。

##### (イ) 花いっぱい運動、コミュニティ菜園

世代間の交流を促すとともに、施設に愛着を感じていただけるよう近隣の保育園、自治会に協力をいただき花植えや作物の収穫を行うなど、花壇や菜園を通じた交流事業を行います。

##### (ウ) ふたば感謝祭

日頃の利用に感謝や冬場の利用促進を目的として、施設を利用する青少年団体やアーティストと協働し、広く市民の参加を募る“ふたば感謝祭”を開催します。複合施設の特性を活かし、文化芸術活動と青少年体験活動の両方を体験できる催しとします。

### 4) . その他

#### 青少年の自由な遊び場、居場所の提供事業

##### (ア) ラウンジや体育館の無料開放（予約がない場合）

将棋、オセロ、バスケットボール、けん玉、KAPLA®等で自由に遊べます。

##### (イ) 時間帯別利用区分け

小中学生は原則午後5時半まで、それ以降は高校生や大学生が使用できるようにするなど、安全に利用できるよう時間や場所等を決めて運営します。

## 5) . 令和2年度 青少年体験活動推進事業 年間計画 (案)

種別	事業名	内容	開催時期
青少年宿泊	ワクワク体験キャンプ (1泊2日)	NAでの仲間づくり、野外炊事。魚釣り、工作、近隣散策など施設の特性を活かしたプログラム体験。館内泊	5月・9月
青少年宿泊	防災キャンプ (1泊2日)	非常食づくりや電気を使わない体験など災害時に役立つプログラムが中心。館内泊	2月
青少年宿泊	アート体験キャンプ (1泊2日)	作品づくりや工作などのアート体験を中心としたキャンプ。AIRアーティストを中心とした芸術家との交流事業。館内泊	11月
青少年	天体望遠鏡で星空を観察しよう	天体望遠鏡を使用した星空観察会	8月
青少年	たき火で焼き芋を焼こう	火起こし、焼き芋、マジマロ焼きを体験	11月
青少年	魚釣り体験	海での魚釣り体験	6月
青少年	お菓子づくり体験	調理室でのお菓子づくり体験	10月・2月
青少年	ネイチャーゲーム	近隣の海や松林等で、自然と触れ合うゲーム	6月・11月
青少年	ブラックライトで光る絵を描こう	蛍光絵具を使用して、ブラックライトに浮かび上がる絵を描く体験	1月
青少年	飛び出すカード作り体験	クリスマスや干支にちなんだ飛び出すグリーティングカード作り	12月
青少年	国際交流員とゲームで交流しよう	英語と一緒にゲームを楽しむ	3月
青少年	マンカラ大会	考える力がつくボードゲーム「マンカラ」の大会、幅広い世代間交流も目的	11月
青少年	ビーチコーミング	海岸漂流物を集めての工作	9月
青少年	テント張り体験&カートドッグを作ろう	テント張りやカートドッグ等のキャンプ体験	5月以降
青少年	たき火で棒パンを焼こう	生地から作り、たき火でパンを焼く体験	9月
青少年	葉っぱの押し葉染め	拾ってきた葉っぱに布用絵具で押し染め体験	
青少年	ゆいぽーと探検	新小学生になる年長児を対象に、学校探検とおみやげ工作	3月
青少年	元自衛隊員が教えるプチサバイバル体験	自然の中で起こりうる危険を考えるほか、簡単なロープワーク体験	6月
青少年	ゆいぽーと小学生チャレンジ「ゆいチャレ！」	小学4～6年生を対象に、毎回テーマを設定、協力してクリアすることを目的とする	偶数月
青少年	冒険遊び	NA体験できる日を設定、登録NAファシリテーターより企画から参加してもらう	奇数月
青少年	ドン山を体験しよう	ドン山を舞台に、オリエンテーリングを実施	
青少年	魚をさばいて食べよう	正しい包丁の使い方を指導し、魚を3枚に調理	
青少年	ゆいぽーと工作教室	季節に合わせた工作教室	年3回
青少年	親子の遊び場	手遊び、リズム遊びなど幼児と保護者を対象とした遊び体験	
青少年	親子で体を動かそう	ストレッチ、筋トレ等、室内で出来る軽運動	2月
青少年	環境に良い生活を送ろう	日常生活からできるエコ活動体験	
市民交流	第7回 全国KAPLA®大会	カブラで作った作品を応募出来る大会	6月～8月
市民交流	けん玉・カブラ®で遊ぼう	けん玉・カブラ®を使用した地域交流事業	月1回程度
市民交流	防災ディキャンプ	非常食体験や防災スキルを学ぶ講座	9月
市民交流	キッズスペース、こたつスペースの設置	親子がゆっくりくつろげるスペースを設置します。キッズスペースに加えて11月～3月にこたつスペースを設置します	通年
市民交流	花いっぱい運動、コミュニティ菜園	世代間の交流を促すとともに、施設に愛着を感じていただけるよう近隣の保育園、自治会に協力をいただき花壇や菜園といった交流事業を行います。菜園では収穫体験も併せて行います。	5月～11月
市民交流	ふたば感謝祭	日頃の利用に感謝や冬場の利用促進を目的として、施設を利用する青少年団体やアーティストと協働し、広く市民の参加を募る“ふたば感謝祭”を開催します。複合施設の特性を活かし、文化芸術活動と青少年体験活動の両方を体験できる催しとします。	2月
指導者育成	ゆいぽーと体験活動指導者養成講座 (A業務)	新規指導者向け、日帰り6時間	6月
指導者育成	ゆいぽーと体験活動指導者養成講座 (A業務)	継続登録者向け、日帰り3時間	11月
指導者育成	いしかたアドベンチャー指導者養成講座 (B業務)	新規指導者向け21時間 (日帰り3日間)。(株)PAJより講師を招聘	5月
指導者育成	いしかたアドベンチャー指導者養成講座 (B業務)	継続登録者向け、日帰り6時間	3月
指導者育成	いしかたアドベンチャー ファシリテーターミーティング (B業務)	継続登録者向けフォローアップ講座、日帰り6時間	12月
その他	青少年の自由な遊び場・居場所の提供事業	ラウンジや体育館の空いている日を開放	通年

### 5. 【文化芸術活動支援事業】

文化芸術活動と青少年体験活動の複合という「ゆいぽーと」の強みを活かした事業運営を目指します。

#### 1) . 「水と土の芸術祭2015」総合ディレクターによる文化芸術監修 (常駐)

「水と土の芸術祭2015」総合ディレクターが常駐し、同事業の理念を継承した事業を中心に展開します。

##### ① アーティスト・イン・レジデンス

新潟市ならではのアーティスト・イン・レジデンス (以下、「AIR」という。) 事業の特色を国内外へ打ち出します。令和2年度は8組程度実施します。

##### (ア) 募集

令和3年度秋までの募集を2か国語以上のホームページ及びSNSを中心に行います。AIRの国際的ネットワーク組織である「Res Artis」(レザルティス)に継続加盟、各地のAIR施設やアートプロジェクトなどとの連携を図ります。

##### (イ) 招聘プログラム等選定委員会の運営

令和2年度については令和3年度春までの滞在作家選定を行うための選定委員会を、年2回(4月・10月)開催します。

(ウ) AIRによる芸術家等創作活動の支援

芸術家等の滞在期間中は、地域の自然、歴史、文化の魅力を体感できるようコーディネートするなど、さまざまな支援を行います。

(エ) AIRによる市民交流事業

制作過程の公開、ワークショップ、レクチャーなどの交流事業を行います。企画に当たっては、芸術家等の特性が活かせる内容のものとし、多様な市民との接点を広げます。

(オ) アート体験キャンプの実施

文化芸術活動と青少年体験活動の2つを合わせもつ「ゆいぽーと」の強みを活かしたアート体験キャンプを実施します。

2) 市民プロジェクトとの連携

① 各プロジェクトとの連携

市民が主体的に交流、創造、発信できる拠点として「水と土の芸術祭」を盛り上げた多様なプロジェクト、「こどもプロジェクト」「にいがた花絵プロジェクト」等と連携し、継続的な事業展開を行います。

② 地域の文化芸術関係団体等による市民交流

西大畑旭町文化施設協議会「異人池の会」や各種団体及びクリエイター等と連携し、地域のにぎわい空間を創出します。

③ 水と土の文化ギャラリーの企画展示・運営

(ア) 企画展の開催

「水と土の芸術祭」の実績をもとに、本市が水と土によって育まれた文化創造交流都市であることを内外へ発信する企画展を開催します。

(イ) 全国の芸術祭関連資料や美術・芸術関連書籍等の設置及び管理運営

「水と土の芸術祭」をはじめ全国の芸術祭関連資料や美術・芸術関連書籍等を設置します。また「アーツカウンシル新潟」等の関係団体と連携し、生きた文化情報の双方向受発信を図ります。

3) 令和2年度 文化芸術活動支援事業 年間計画 (案)

種別	事業名	内容	開催時期
AIR	招聘プログラム〈春〉	2組、滞在制作90日以内	4月～6月
AIR	自主活動プログラム〈夏〉	2組、滞在制作30日以内、公募・選考R2年4月	7月～8月
AIR	招聘プログラム〈秋〉	2組、滞在制作90日以内、公募・選考R2年4月	9月～11月
AIR	自主活動プログラム〈冬〉	2組、滞在制作30日以内、公募・選考R2年10月	1月～2月
AIR市民交流	招聘プログラムアーティスト〈春〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	4月～6月
AIR市民交流	自主活動プログラムアーティスト〈夏〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	7月～8月
AIR市民交流	招聘プログラムアーティスト〈秋〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	9月～11月
AIR市民交流	自主活動プログラムアーティスト〈冬〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施。	1月～2月
AIR市民交流	アート体験キャンプ(1泊2日)(再掲)	作品づくりや工作などのアート体験を中心としたキャンプ。AIRアーティストを中心とした芸術家との交流事業。館内泊	11月
地域団体市民交流	にいがた花絵プロジェクトINゆいぽーと	地元産チューリップを用い、クリエイターや地元住民、青少年等と協働し、独自の花絵を制作・展示する。	4～5月
地域団体市民交流	明後日朝顔プロジェクトNIGATA in ゆいぽーと	アーティスト日比野克彦氏が立ち上げたアートプロジェクトを昨年に続き実施する。	5月～11月
地域団体市民交流	ゆいぽーとで感じる世界 異文化交流シリーズ	アフリカン・スピリッツとの出会い。アフリカのドラムとダンスのワークショップおよび公演などを行う。	6月
地域団体市民交流	新潟竹あかり花あかり関連企画	異人池の会と連携し、テーマに因んだ独自企画を実施。	10月
地域団体市民交流	クリスマスキャンドルツリーアートナイト	ワークショップで、ツリーに見立てたキャンドルアートを作成。点灯式にはパフォーマンスイベントを実施する。	12月
地域団体市民交流	水と土の映像祭2021	新潟の水と土の文化に関する映像作品の特集上映会。	3月
ギャラリー企画展示	常設展	「新潟市環境資源目録」と「はがしたての地球～土壌モノリス」の展示。	4月～6月、1～3月
ギャラリー企画展示	みずつちアーカイブ & インフォメーションラボ	水と土の芸術祭市民サポーターズと連携して、市民プロジェクトなどの活動を紹介する。	7月～9月
ギャラリー企画展示	水と土の書き物展	新潟の水と土に関する書き物等を展示形式で紹介する。	10月～12月

## 6. ボランティアの活用

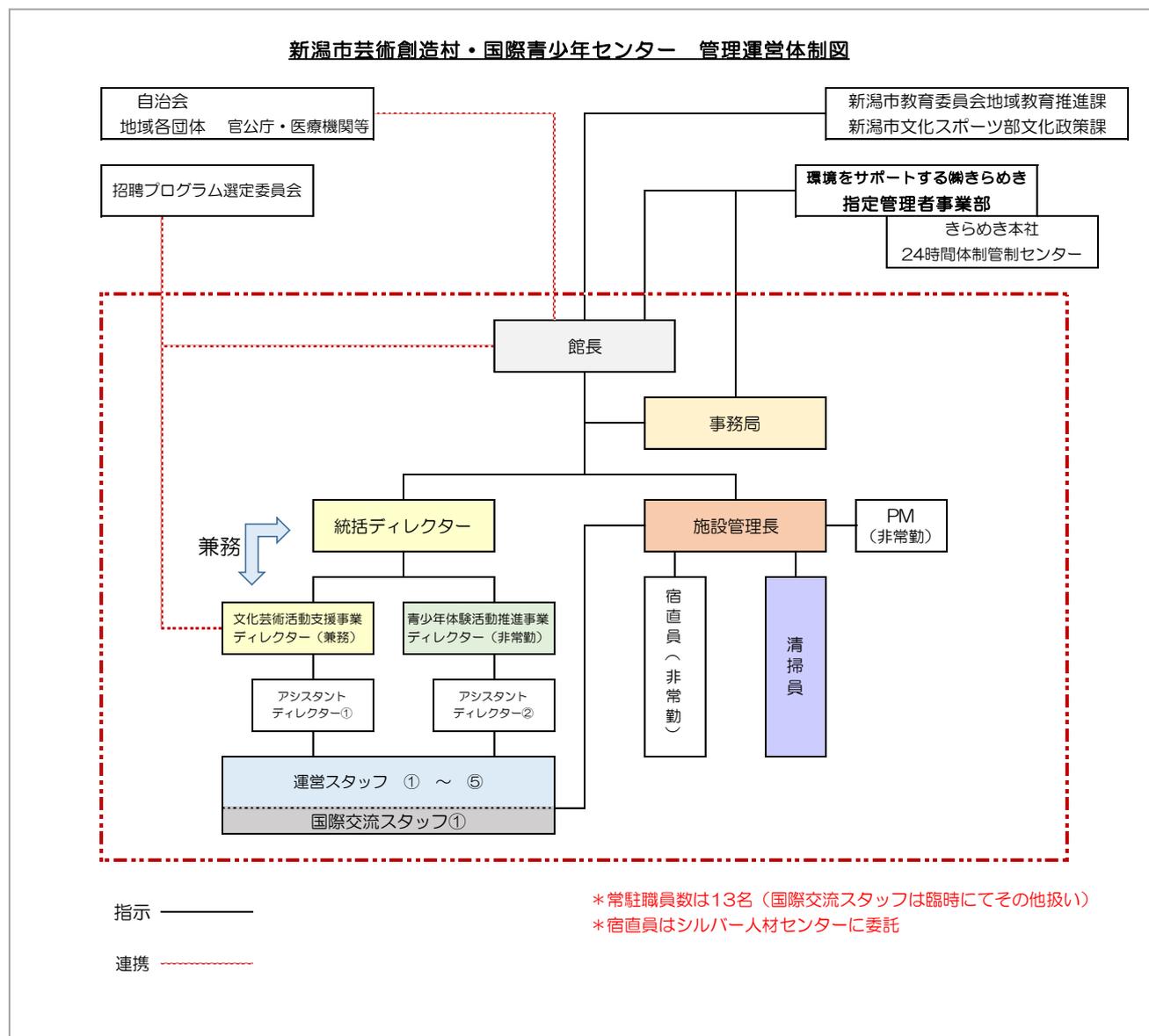
### 1) . 青少年体験活動推進事業

NAやその他事業においてボランティアを活用します。各種団体、個人、市内各大学ボランティアサークルの協力をいただき、市民協同の輪を広げます。

### 2) . 文化芸術支援活動推進事業

AIR創作活動支援、市民交流事業については「水と土の芸術祭市民サポーターズ」をはじめ、学生など、ボランティアスタッフと協働しながら行います。

## 7. 管理運営体制



## 8. 研修計画

研修名	実施月		実施者
【施設受付・貸出業務】			
マナー（接客・接遇）研修	2月		きらめき本社 指定管理者事業部
個人情報取扱・コンプライアンス研修	2月		きらめき本社 指定管理者事業部
【安全管理】			
避難訓練	5月	11・2月	防火管理者
AED研修	5月	11・2月	AEDプロバイダー
【にいがたアドベンチャー・その他プログラム】			
スキルアップ研修	7月・8月を除く毎月		ゆいぽーと職員

## 9. 自主事業計画

利用者の利便性の向上を目的とした有料自主事業を実施し、それらによって得られた利益については全て施設の維持管理費に充当します。

### 1) .ケータリング、お弁当サービス

利用者からの希望があればケータリング、お弁当サービスを提供します。

### 2) .自動販売機収入による無料Wi-Fi 継続設置

自動販売機の手数料収入を財源として、1～2 階に無料Wi-Fi を設置します。

### 3) .二葉アーツスクール「めだかの学校」シーズン3の開講

新潟に根差したテーマによる連続市民講座を実施します。知的感性を高めるとともに、創造的な出合いを育みます。（年4回開催予定）

### 4) .「メセナ活動」の推進

芸術家等のAIR活動を支援すべく、自主事業として会員制のメセナ活動を推進し、参加企業を募ります。またそれ以外にも個人スポンサーを募ります。なお、調達資金については、それぞれ指定管理料及び通常の自主事業とは別口座にて管理します。

### 5) .その他サービス

その他サービスとして下記の実施します。

- ・コピー ・コインランドリー（3、4階）
- ・fax サービス ・インターネットサービス（Nigata City Wi-Fi） 他

項目	備考
二葉アーツスクール	年4回
コピー・fax・ネットサービス・CDプレイヤーレンタル等	モノクロ1枚10円、カラー1枚50円
コインランドリー	
薪、野外自炊材料販売手数料	
自動販売機設置	手数料収入はWIFI運営費に充当
ケータリングサービス・お弁当	

